緊急地震速報システム 減災くんシリーズ

高度利用者向け緊急地震速報

減災くん 高度 code ECO

取扱説明書



緊急地震速報二次配信
気象庁正式認可
気象庁より予報業務許可を受けた
二次配信業者(認可第113号)です

緊急地震速報
来る前に知る

株式会社 レッツコーポレーション

目　次

１．はじめに. 3
　１－１．免責事項 3
　１－２．製品構成 3
２．注意事項. 4
　２－１．使用上の注意事項 4
　２－２．本製品に関する注意事項 6
　２－３．深発地震に関しての注意事項 7
３．各部名称. 8
４．設置・調整. 9
　４－１．接続イメージ 9
　４－２．ＬＡＮケーブルの接続 9
　４－３．オーディオケーブルの接続 10
　４－４．電源アダプタの取り付け 10
　４－５．壁掛けで設置する場合 11
　４－６．専用スタンドに取り付ける場合 12
　４－７．外部機器との接続 14
　４－８．電源のＯＮ／ＯＦＦ 15
　４－９．外部出力音量の調整 15
５．緊急地震速報の受信. 16
６．エラー表示. 16
７．緊急地震速報のテストをする. 17
　７－１．テストスイッチで確認する 17
　７－２．テストをして動作しなかった場合. 17
　７－３．配信テストについて 18
８．製品仕様. 18
９．製品保証書. 19

１．はじめに

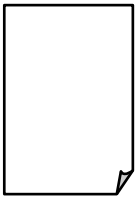
このたびは、減災くん codeECO(コードエコ)(以降、本製品)をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書（以降、本書）をよくお読みいただき、本製品の機能を十分発揮できますように正しくお取り扱い、運用いただけますようお願い申し上げます。
この取扱説明書は、付属品とともに大切に保管してください。

１－１．免責事項

・本製品および付属品の使用により生じた金銭上の損害逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても当社では一切その責を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・本製品および付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。
・本製品の故障、誤作動、不具合あるいは停電などの外的要因によって、通信、データの消失、緊急地震速報受信など、逸したため生じた損害などの純粋経済損害につきまして、弊社は一切その責を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・緊急地震速報の遅延、震度や到着予想時間の誤差、誤報、不着などによる直接または間接的な損害などの純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責を負いかねますのであらかじめご了承ください。また、直下型地震には対応していませんのであらかじめご了承ください。
・雷・風水害などの天災および当社責任以外の火災、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
・この取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、一切責任を負いません。

１－２．製品構成

ご使用いただく前に、次の構成品が全部そろっているか確認してください。
万一、不足や損傷している場合は、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。
また、本製品および付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

 減災くん codeECO 本体	 電源アダプタ	 スタンド(組立式)
 壁掛用木ネジ４本	 取扱説明書(保証書含む)	 MAC アドレス登録用紙

【メモ】LAN ケーブル、接点出力用ケーブル、3.5φオーディオケーブルは付属されていません。
お客様側でご用意ください。

【重要】MAC アドレス登録用紙に、本体裏面に貼られている MAC アドレスをご記入の上、弊社宛（本書の裏面に記載されている連絡先）にご返送ください。

２．注意事項

本製品をお使いいただく上での注意事項です。

２－１．使用上の注意事項

本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、様々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

【表示の説明】誤った取り扱いをしたときに生じる危害、障害の程度を区分し説明します。

警告	この表示の注意文を無視して誤った取扱いをすると、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容を示しています。
注意	この表示の注意文を無視して誤った取扱いをすると、「損傷を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。
【ご注意】	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できない、または、機能停止をまねく内容を示しています。
【メモ】	この表示は、本製品の取扱いを簡便にするアドバイスなどを示しています。

（１）設置場所について

警告

●危険を伴う場所への設置の禁止
下記のような場所への設置はしないでください。火災・感電・ケガ・故障の原因となります。
・屋外や直射日光が当たる場所（庭やベランダなども含む）
・温度の高い場所（直射日光が当たる場所や電子機器の上など）
・湿度の高い場所や水を扱う場所（風呂場など）
・火気の側や高熱を発する機器の側（台所など）
・油飛びや湯気や水滴が当たるような場所（台所など）
・不安定な場所、ほこりの多い場所、振動の多い場所、強度の弱い壁面、ぐらついた台の上など

●放熱を妨げる場所への設置、通気孔の禁止
本製品に布をかぶせる、または箱の中など通気性を損なうような場所へ設置をしないでください。
熱がこもり、火災や故障の原因となります。

●異物を入れないための注意
本製品に異物、または水が入ると、火災・感電・故障の原因となります。
一例として、下記のようなものは本製品の付近に置かないでください。
・花びん、飲料水、化粧品、薬品などが入った容器　・植木鉢　・小さな金属類（画鋲やクリップなど）

●本製品は日本国内で使用する
本製品は日本国内専用です。国外で使用すると火災や感電の原因になります。
また、他国には独自の安全規格が定められており、本装置は適合していません。

注意

●電磁波の発生する機器付近へ設置しない
テレビ、ラジオ等のすぐそばや、強い磁界を発生する装置等が近くにある場所への設置は避けてください。
電磁波の影響でノイズが発生する可能性があります。

●通信経路が断たれる恐れのある場所へ設置しない
本製品が正常に動作するための通信経路の確保に努めてください。配線が抜け外れそうな状態での設置や、配線を物の下敷きにした状態での設置は、配線外れや断線などにより通信経路が断たれ、本製品の正常動作の妨げになる恐れがあります。

●モルタル塗装部に設置する場合
穴開けにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴開けをしてください。

●小さなお子様がいる場所での使用は特に注意する
小さなお子様がいる環境でご使用になる場合は、特に注意して設置してください。
設置場所によっては、落下などによりケガをする恐れがあります。

（２）電源について

警告

●商用電源以外の禁止
AC100V 家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●電源の接続・電源コードの取扱注意
下記の内容をお守りください。誤った使い方をすると火災・感電の原因となります。
・電源は確実にコンセントに接続してください。
・電源アダプタ・電源コードは傷つけたり、分解したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて使用したり、物を載せたり、高熱を発するものへ近づけたりしないでください。
・濡れた手でコンセントに接続しないでください。
・分岐ソケットを使用した、たこ足配線はしないでください。

注意

●電源コードの取扱注意
電源アダプタをコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタ本体を持って抜いてください。
コード部を引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

（３）禁止事項について

警告

●改造の禁止
本製品を分解・改造しないでください。また、本製品に改造した機器や、本書の説明に記載されていないケーブルを接続しないでください。火災・感電の原因となります。

●ぬらすことの禁止
本製品に水が入ったり、ぬらさぬようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

（４）こんなときは

警告

●発煙への対処
万一、煙が出ている、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本製品の電源アダプタをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

●水が装置内部に入った場合の対処
万一、内部に水が入った場合は、すぐに本製品の電源アダプタをコンセントから抜いて、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源アダプタ、電源コードが傷んだ場合の対処
電源アダプタ、電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線等）のまま使用すると、火災・感電となります。すぐに本製品の電源アダプタをコンセントから抜いてご購入店か弊社に修理をご依頼ください。

（５）その他のご注意

注意

●雷のときの注意
雷が激しいときは、電源アダプタをコンセントから抜いてください。万一落雷があった場合、火災・感電の原因となることがあります。雷が発生した際は、感電のおそれがあるので、電源アダプタ、電源コードおよび LAN ケーブルに触れないようにしてください。

●電源プラグ周りの清掃
コンセントとソケットの間のほこりは定期的に（半年に 1 回程度）に取り除いてください。
放置しておくと、火災・感電の原因となることがあります。

●長期間ご使用にならないときの注意
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。

２－２．本製品に関する注意事項

本製品は、IP（インターネットプロトコル）回線を利用した緊急地震速報受信端末です。
使用用途に応じて付属品以外で必要なもの（項目）がありますので、確認してください。

●緊急地震速報を利用するには
・インターネット回線契約
・弊社との緊急地震速報の配信契約
・接点を利用して外部機器（構内放送など）と連動させる場合、外部機器と本製品の接点出力ポートを結ぶケーブル（３．５φステレオケーブル、接点出力用ケーブル）

●接点出力について
本製品は、接点出力端子を４つ備えています。本製品が緊急地震速報をお知らせするときに必ずオンになります。接点の遅延起動など、上位機器からの制御はできませんのでご了承ください。

●緊急地震速報について
本製品の緊急地震速報は、インターネット回線を利用し、弊社との配信契約を行うことにより初めてお使いいただくことが可能となります。

本製品が受信する緊急地震速報は、気象庁から配信される「高度利用者向け緊急地震速報」となっており、一般的にテレビやラジオで受信できる「一般向け緊急地震速報」より詳細な情報が伝達されます。（「一般向け緊急地震速報」は、地震波が２点以上の地震観測点で観測され、最大震度が５弱以上と予想された場合に予想震度が伝達されますが、「高度利用者向け緊急地震速報」は震度５弱以下の場合も伝達され、予想到達時間も伝達されます。）※

緊急地震速報はその性質上、震源地から緊急地震速報受信地までが近い場合、緊急地震速報が間に合わない場合があります。また、震源地から緊急地震速報受信地までが遠くても地震経路の地盤の具合や予報誤差により緊急地震速報が間に合わない、または誤差が生じることがあります。
深発地震の震度については、予想精度が十分でないため誤差が生じることがあります。

本製品の不具合が起因となった緊急地震速報の遅延、不達、誤報、不備、それに伴う二次的災害、配信される緊急地震速報の遅延、不達、誤報、不備、それに伴う二次的災害など、責任を負いかねますので予めご承知置き願います。

あくまでも「予報」であり、「警報」や「注意報」でないことをご承知置きください。

インターネット回線サービスの廃止または仕様変更した場合、弊社もサービス提供困難と判断し、予告・了承なく緊急地震速報サービスを中止することがあります。その際に発生する損害等は、一切保証できかねますので、あらかじめご了承ください。

※ 2024 年 4 月現在。将来的に変更される可能性がありますので、最新情報は気象庁のホームページでご確認ください。

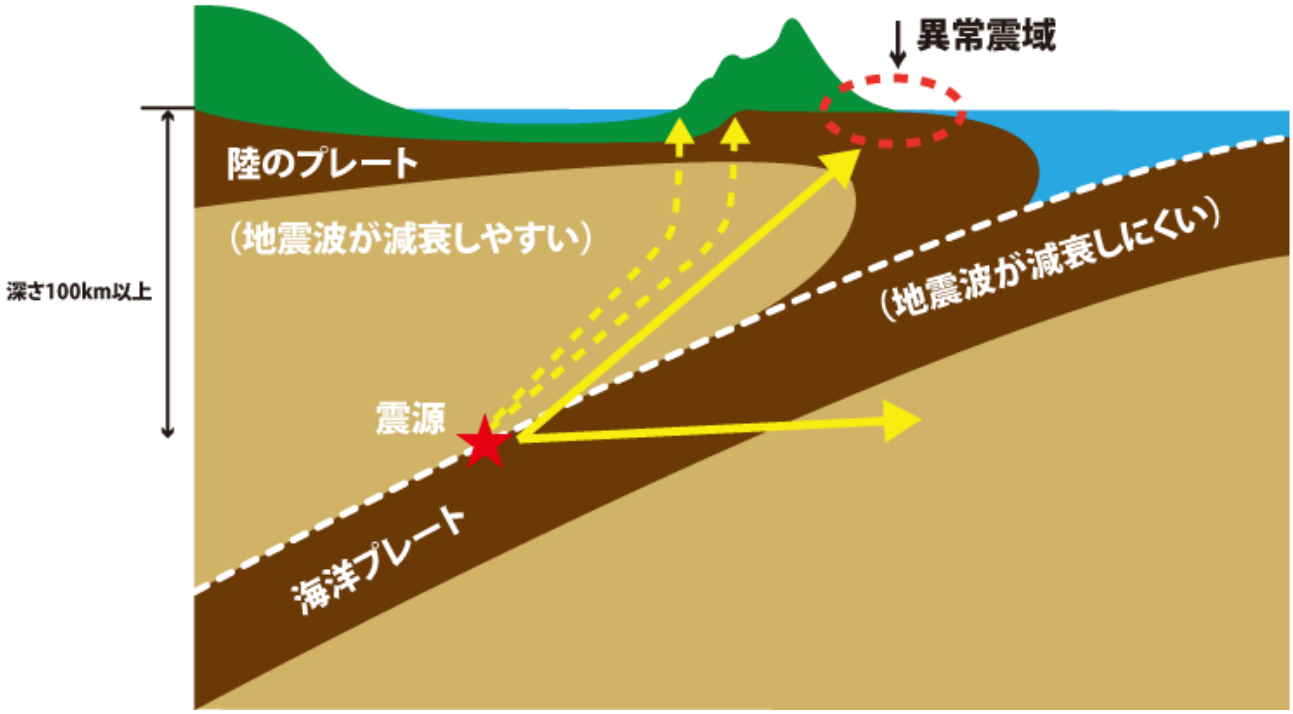
２－３．深発地震に関しての注意事項

深発地震の場合、震度の予想精度は十分ではありません。

深発地震（深さ 100 ㎞程度より深い場所で発生する地震）では、沈み込むプレートに沿って地震波が伝わりやすいという性質が顕著に現れるので、震源の直上より震源から離れた場所で揺れが大きくなることがあります（異常震域）。

また、現在、震度の推定に用いている経験式を深発地震に適用すると、実際よりも大きく計算されるなどの問題もあり、深発地震では正確な震度の推定は困難です。

なお、１あるいは２観測点のデータを使っている段階では、深発地震であっても常に震源の深さを 10 ㎞に仮定して震度を推定するので、この場合も震度の推定に大きな誤差が発生することがあります。

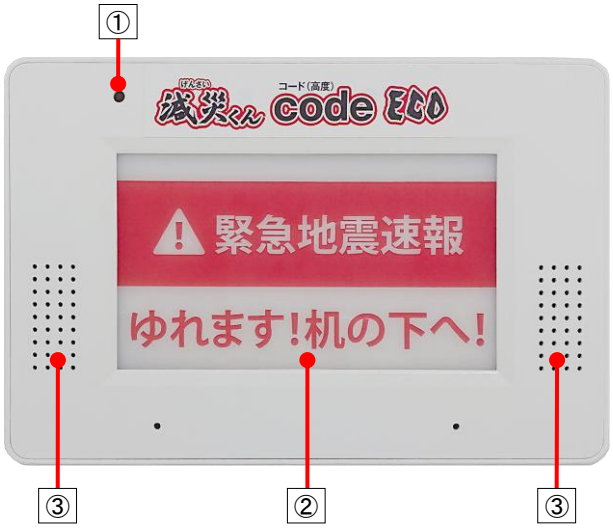


これにより、弊社が計算、配信します緊急地震速報においては、条件によっては十分な精度でないものが配信される場合があることをあらかじめご承知おきください。
また、ご利用ユーザー様におきましても、このことを想定に入れたご利用方法にてお願いいたします。
なお、震源の深さが 150 ㎞より深い場合は、弊社から緊急地震速報の配信はいたしません。

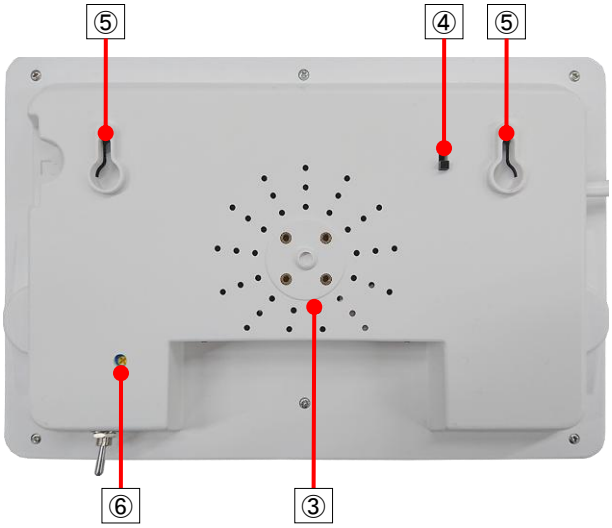
以上につきまして、ご理解の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

３．各部名称

■ 正面

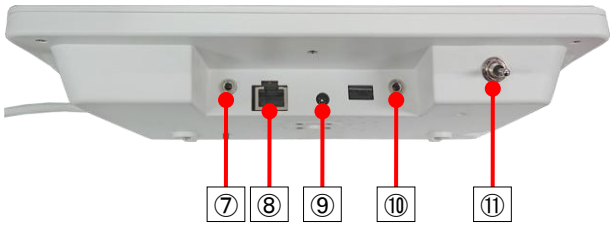


■ 背面

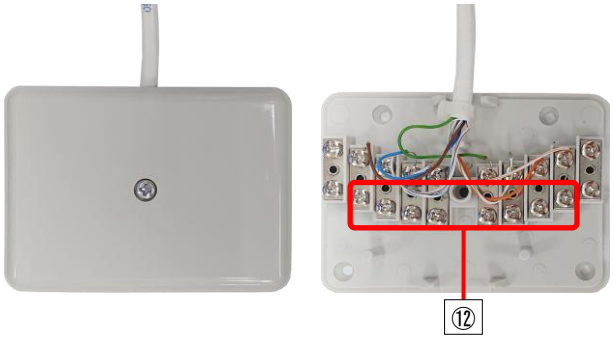


① ＬＥＤランプ	電源がＯＮになると、ＬＥＤランプが点灯します。
② パネル	緊急地震速報の受信時に、バックライトが点滅します。
③ スピーカー	緊急地震速報の音声が流れます。
④ 電源スイッチ	本製品の電源のＯＮ(上)／ＯＦＦ(下)を行います。
⑤ 壁掛け用取り付け穴	壁掛けの際、この穴にネジ山を引っかけます。
⑥ 外部出力音量つまみ	外部ライン出力端子から出力する音量を調整します。

■ 底面



■ 接点出力端子部

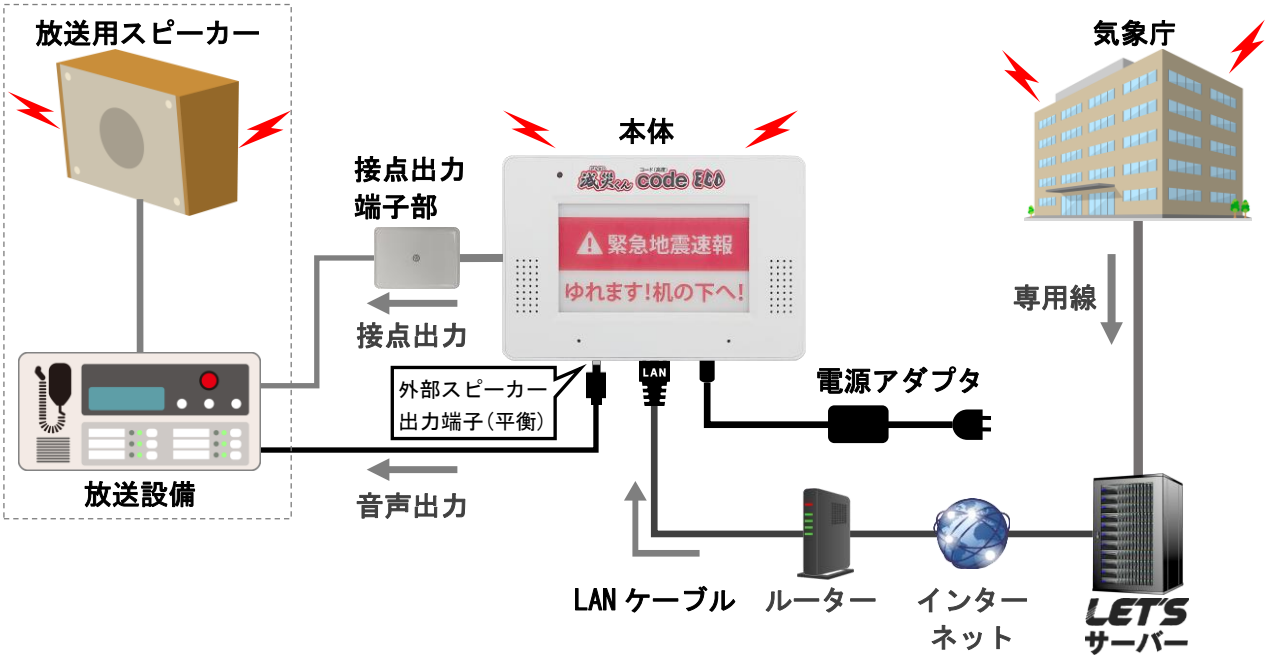


⑦ 外部ライン出力端子(非平衡)	3.5φステレオケーブルを接続して、スピーカーに音声出力します。
⑧ LAN 端子	LAN ケーブルを接続し、インターネット回線に接続します。
⑨ 電源ソケット	付属の電源アダプタを接続します。
⑩ 外部ライン出力端子(平衡)	3.5φステレオケーブルを接続して、放送設備側に音声出力します。
⑪ テストスイッチ	スイッチを倒すことで、擬似的に緊急地震速報を動作させます。
⑫ 接点出力端子	放送設備等に接続する接点出力用ケーブルを接続します。

４．設置・調整

４－１．接続イメージ

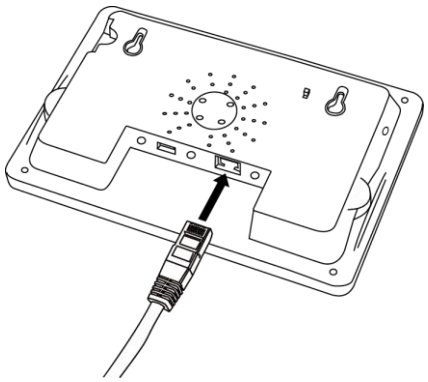
音声出力がありますので、構内放送を通じて地震速報を流すことができます。



４－２．ＬＡＮケーブルの接続

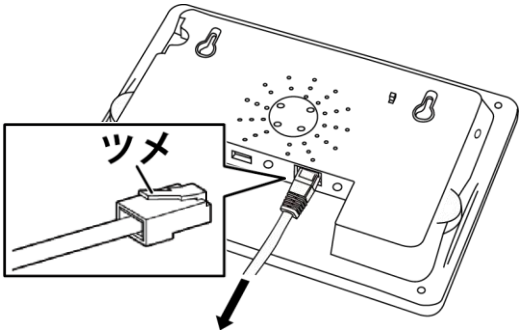
弊社のサーバーと接続するために、インターネットに接続している回線へ接続します。
インターネット回線が接続されているルーターに、LAN ケーブルで本製品を接続します。

【重要】IP アドレスは、DHCP サーバーから取得する必要があるため DHCP サーバーが必要です。
DHCP サーバーが存在しない場合、別途固定 IP へ設定を変更する必要があります。



インターネット回線に接続しているルーターに、LAN ケーブルを接続後、底面の LAN 端子に LAN ケーブルを差し込みます。

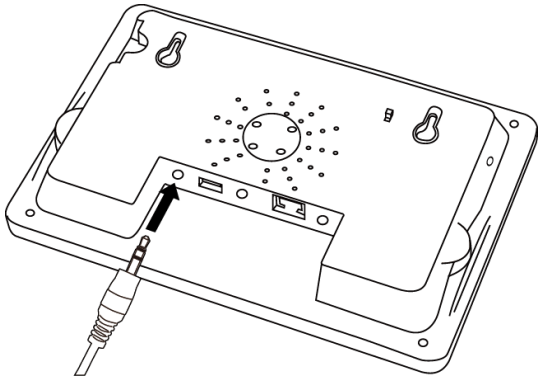
コネクタにはツメがありますので、差し込む向きに注意してください。
通常、コネクタを奥まで差し込むとツメが引っかかり、「カチッ」と音が鳴ります。



【LAN ケーブルを取り外す場合】
LAN ケーブルのツメの部分を押さえ込み、引き抜きます。
【ご注意】堅くて取り外しが困難な場合でも力任せに引き抜かないでください。本製品および LAN ケーブルが破損する恐れがあります。

４－３．オーディオケーブルの接続

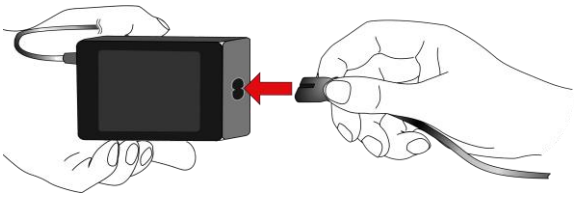
本製品の音声を、外部スピーカーに出力する場合に接続します。



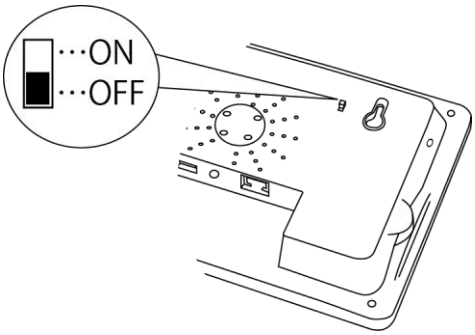
底面左側の外部ライン出力端子(非平衡)に、3.5φステレオピンジャックのケーブルを接続して、本製品の音声を、接続したスピーカーに出力することができます。

４－４．電源アダプタの取り付け

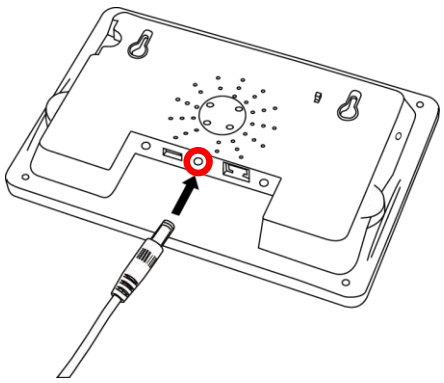
【ご注意】電源アダプタの接続の際、電源スイッチがＯＦＦ(切)であることを確認してください。



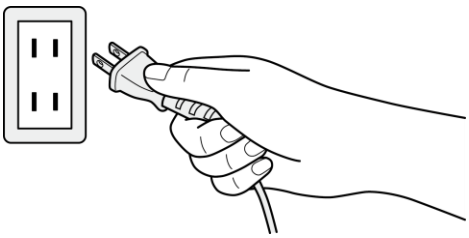
1. 電源アダプタに、電源コードを接続します。



2. 電源スイッチが、ＯＦＦ（下側）になっているかを確認します。



3. 本製品に、電源アダプタ端子を差し込みます。

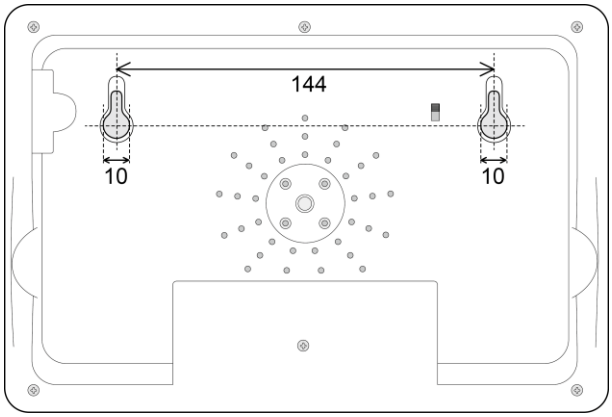


4. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

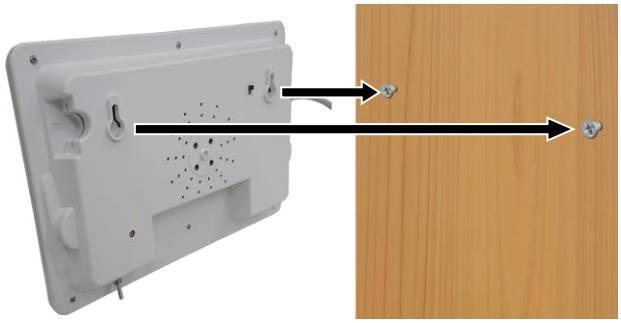
４－５．壁掛けで設置する場合

本製品を壁掛けで設置する方法を説明します。

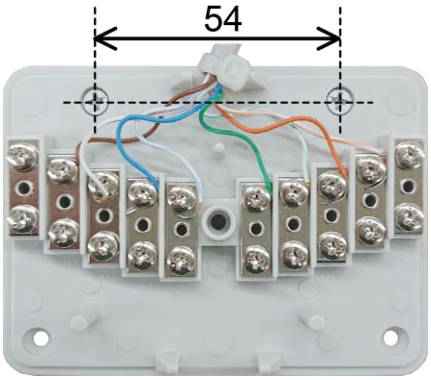
【警告】強度の弱い壁面に設置しないでください。落下によりケガ・故障の原因となります。



1. 壁掛用の木ネジの取り付け位置を決めます。
   木ネジの取り付け位置は、左図を参照してください。



2. 壁面に木ネジを２箇所取り付け、壁掛用取り付け穴に木ネジを引っ掛けて取り付けます。



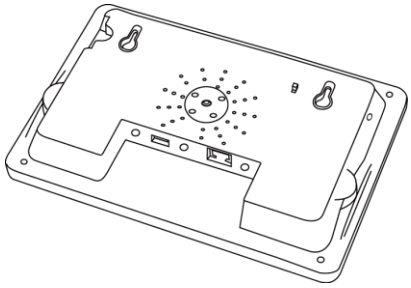
3. 接点出力端子部を壁に取り付けます。
   接点出力端子部の中心のネジを外して、
   カバーを取り外します。
   接点出力端子部の左図の箇所に、木ネジを２箇所取り付けて固定します。



4. 壁面取付け後のイメージです。

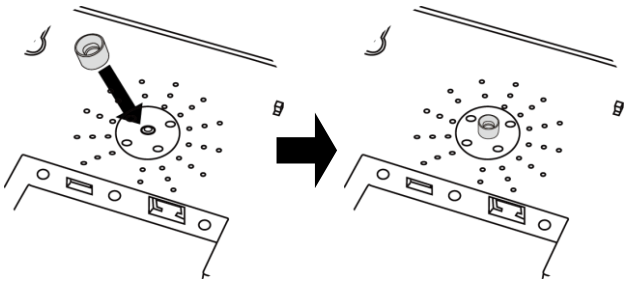
４－６．専用スタンドに取り付ける場合

専用スタンドの取り付け方法を説明します。１番のプラスドライバーを使用します。

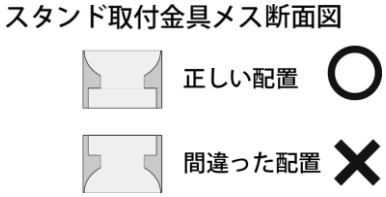


1. 本体を平らな作業しやすい場所へ背面を向けて寝かせます。

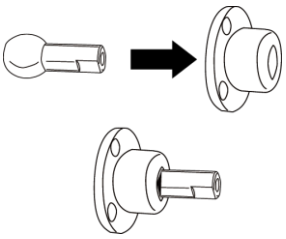
【ご注意】作業台とパネル部分の間に物が挟み込まれていないか確認をしてください。物が挟み込まれているとパネルが破損する恐れがあります。



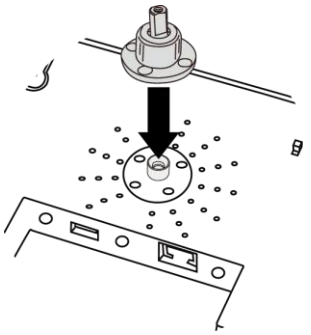
2. 中央の出っ張りに、スタンド取付金具メスを置きます。



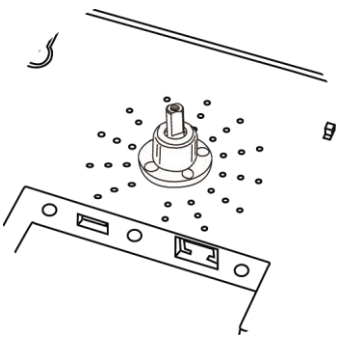
【ご注意】スタンド取付金具メスには向きがあります。必ず丸みを帯びた部分が上になる（見える）ように置きます。



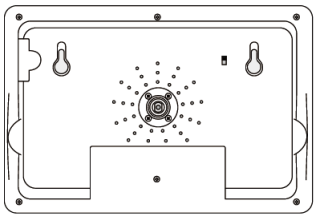
3. スタンド取付金具オスを、アタッチメントの穴に差し込みます。



4. 手順２で置いたスタンド取付金具メスの上にかぶせるように、アタッチメントを配置します。



5. 本体側のネジ穴とアタッチメントの穴が一致するように調整します。

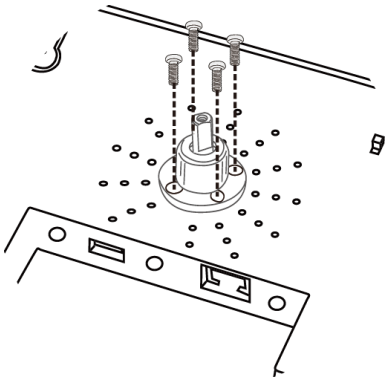




拡大図

このとき、スタンド取付金具オスの向きが左図のようになるように注意します。

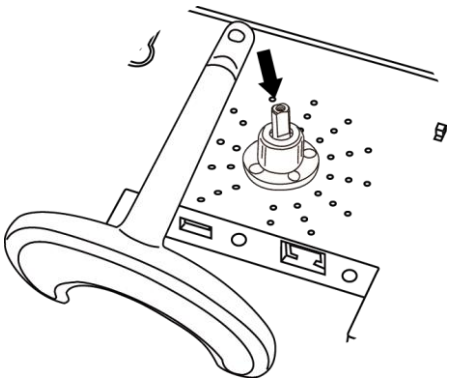
【メモ】本体とアタッチメントの間に隙間が生じますが正常です。（ネジを締めるときに埋まります。）



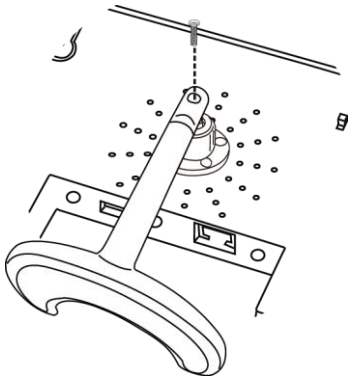
6. アタッチメントを、６mmネジで４箇所固定します。



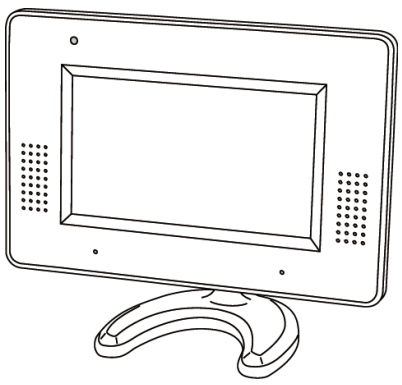
【ご注意】１番のプラスドライバーを使用してください。必要以上の力で締め続けないでください。ネジ山が破損、または締まらなくなります。
【メモ】１箇所のネジを最後まで締めずに、４箇所を均等に締めてください。



7. スタンド取付金具オスに、スタンドを差し込みます。
スタンド取付金具オスとスタンドの差し込み穴には形状があり、一致しないと差し込みできません。形をよく確認して差し込んでください。



8. スタンドを固定します。
長いネジで、スタンド頭部を固定します。

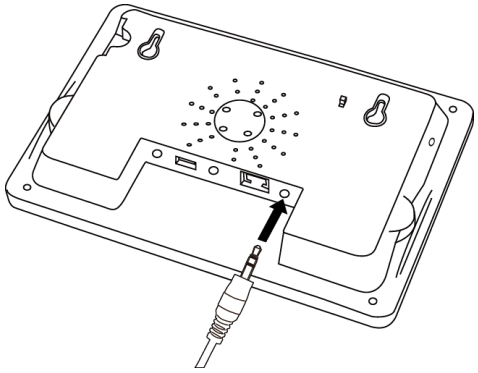


9. 完成です。

４－７．外部機器との接続

本製品は、警報音などを出力する音声出力端子と接点出力４接点を持っています。
本製品の接点は無電圧Ａ接点になります。（通常時はオープン状態である接点のこと）
接点に極性はありません。全端子に一括出力されます。
接点の仕様:制御電圧:DC24V、制御電流:1A

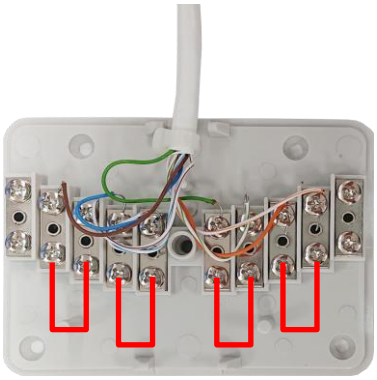
■音声出力端子の接続【3.5φ 端子】



底面右側の外部ライン出力端子(平衡)に、3.5φオーディオケーブルを、外部機器の音声入力端子を接続します。

【メモ】・音量は、[外部出力音量ボリューム]にて調整できます。
・音声出力は、優先順位の高い端子に接続してください。
・通報範囲は、放送設備でシステム設定されている可聴範囲と同範囲となります。

■接点出力【無電圧Ａ接点】

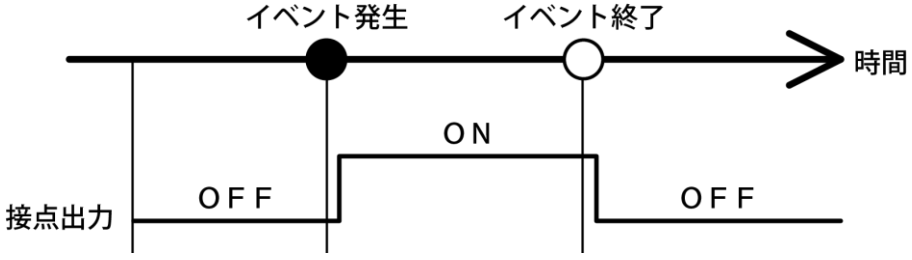


接点出力端子部のカバーを、２番のプラスドライバーで開けると、接点端子に接続できます。
放送設備の外部制御としてご利用できます。
４端子分接続できます。
接点出力ケーブルを、芯線をネジにからげて固定します。

【メモ】放送設備と接続する場合、外部制御の優先順位が高い端子に接続してください。

■ 接点出力とイベントの関係

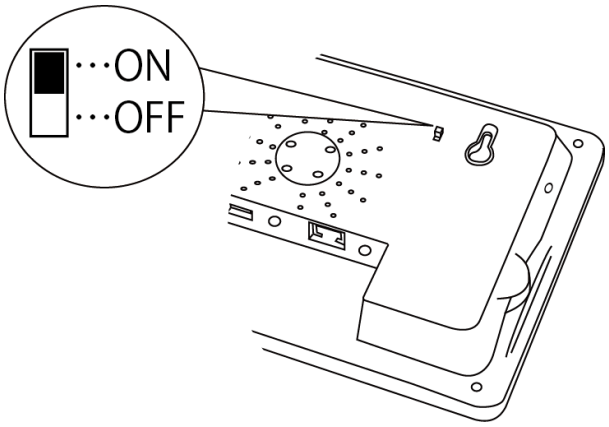
接点出力の ON/OFF と、イベントとの関係の図です。



【メモ】接点は４接点が同時に動作します。

４－８．電源のＯＮ／ＯＦＦ

すべての接続が完了しましたら、本製品の電源を入れます。



本体背面の電源スイッチを上側（ＯＮ）にします。
電源が入れた直後に、パネルが１回点滅します。
正面左上側の LED ランプが、緑色点灯します。

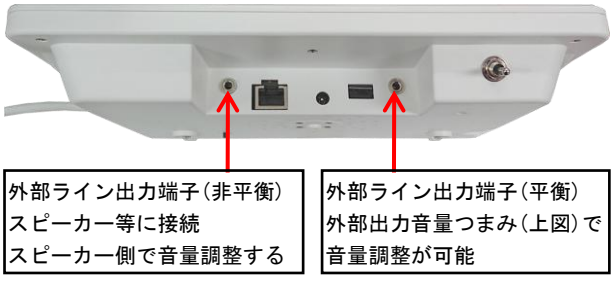


４－９．外部出力音量の調整

放送設備等に接続する、外部ライン出力端子（平衡）から出力する音量を調整します。
「６．緊急地震速報のテストをする」を参照しながら、流れる音量を確認しながら調整してください。



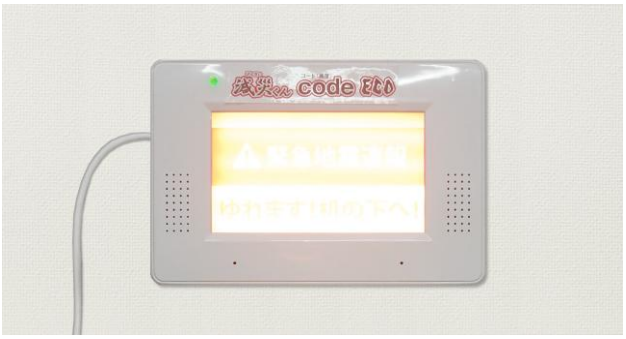
外部出力音量つまみを回し、音量を調整します。
１番の精密ドライバーを使って回します。
左に回すと音量が小さくなり、
右に回すと音量が大きくなります。



【メモ】外部ライン出力端子（非平衡）に接続した音量は、接続したスピーカー側で音量調整をしてください。

５．緊急地震速報の受信

緊急地震速報を受信するとパネルが点灯し、警報音、予想震度、及び到達予想までの秒数が流れます。



1. 緊急地震速報を受信すると、パネルが点滅します。
2. 音声で緊急地震速報をお知らせします。
3. 接点出力がオンになり、外部機器（構内放送など）が接続されている場合、動作を開始します。

【ご注意】	本製品に電源が入っていない、またはインターネットに接続されていない場合、緊急地震速報を受信できません。 緊急地震速報はその性質上、直下型地震には対応できません。 また到達予想時間や予想震度には誤差が生じます。あらかじめご了承願います。
【メモ】	地震に備え日頃から訓練を行うことが重要となります。 日頃から地震に備えておくことが重要となります。 気象庁では、緊急地震速報に関するしくみと心得の動画等を公開しています。 気象庁のホームページ　https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/index.html

製品は緊急地震速報を受信すると、警報音と音声、およびパネルの点滅により注意喚起を促します。
緊急地震速報の警報音と音声は、次の通りになります。

状態	音声
緊急地震速報を受信	（警報音） 緊急地震速報。地震が来ます。震度Ｘ。 （強い）揺れに備えてください。
	Ｙ秒後に地震が来ます。
	間もなく揺れます。（強い）揺れに備えてください。
	揺れが収まるまで注意してください。
緊急地震速報の誤報を受信	ただいまの緊急地震速報は誤報でした。地震の心配はありません。
待機状態	なし
Ｘ（震度）：１、２、３、４、５弱、５強、６弱、６強、７	
Ｙ（到達までの時間音声）：５、１０、１５、２０、３０、４０、５０、６０、７０、８０、９０	

６．エラー表示

ネットワークの切断等により、弊社サーバーと接続できない場合、パネル部が点滅します。



LAN ケーブルが抜けている(ネットワークが切断している)と、パネルが点滅します。
その場合、LAN ケーブルの接続確認、及びネットワーク接続を確認してください。

７．緊急地震速報のテストをする

地震に備えておくため、本製品では、緊急地震速報のテストを行うことができます。
本体と接続機器の動作確認、または避難訓練等にご活用ください。

７－１．テストスイッチで確認する

テストスイッチを倒すと、内蔵スピーカーと音声出力端子に対して緊急地震速報が流れます。
流れる音声や本装置の動き（外部出力の接点など）は実際の動きと同じになります。
（ただし、緊急地震速報の震度は「震度５弱」固定になります。）

【メモ】「テストスイッチ」を倒すと、音声出力端子と本製品のスピーカーの両方から音声が流れます。
外部出力機器が接続されていると、外部出力機器に対しても動作を行いますのでご注意ください。



1. 底面のテストスイッチを倒します。



2. パネルが点滅します。
   音声で擬似的な緊急地震速報が流れます。

3. 接点出力がオンになり、外部機器（構内放送など）が接続されている場合、動作を開始します。

７－２．テストをして動作しなかった場合

以下に、問題点が発生した場合の確認ポイントを記載します。
状態によっては、本製品の電源のオフ／オンなどで改善する場合があります。

症　状	確認ポイント
パネルの点滅および音声が流れない	・電源スイッチの確認（ＯＮは上側、ＬＥＤランプの点灯確認） ・電源アダプタ端子およびコンセントの接続確認
本体からの音声が流れるが、 外部スピーカーの音声が流れない	・外部ライン出力端子(非平衡)の接続、およびケーブルの確認 ・外部スピーカーの電源の確認
外部機器(放送設備)に音声が流れない	・外部ライン出力端子(平衡)の接続、およびケーブルの確認 ・接点出力端子部の接点端子の接続確認 ・スピーカー音量つまみの調整（右側に回すと大きくなる） ・外部機器（放送設備・スピーカー）の接続、音量確認
テストスイッチでは正常に動作したが、配信テストでは流れない	・ＬＡＮケーブルの接続確認 ・インターネット接続の確認

７－３．配信テストについて

弊社では、緊急地震速報のテスト配信サービスを行っています。
ご希望の方は、テストスイッチによる放送設備等との音声確認後、弊社サポートセンターまでご連絡頂き、緊急地震速報の配信テストを依頼してください。

確認後、弊社より緊急地震速報をテストとして配信しますので、本製品での表示・音声の確認・放送設備等付帯設備での動作確認をしてください。

※ テストは、震度５強の地震が５秒後に発生することを想定しています。
　その後は、注意を促すメッセージが３０秒間流れます。
※ 現状で他の放送(電話ページング(構内放送)・定時刻チャイム等)を使用している場合は、
　他の放送より優先して放送されることを確認してください。

●配信テストについて
配信テストを避難訓練等に利用できます。
「テスト配信申込書」にご記入の上、ＦＡＸにて送信してください。
・問い合わせ先電話番号：０５２－２０９－７８６０
・配信テストであることを伝えてください。
・テスト配信申込書がない場合は、申し伝えてください。

８．製品仕様

本書に記載されている仕様または機能は、技術改善などにより予告なく変更する場合があります。
ご了承ください。

回線部	
回線種別	IP(インターネットプロトコル)回線
表示部	
警告表示	LEDバックライト照明
パネルサイズ	幅152㎜×高さ84㎜×対角174㎜
音声出力部	
内蔵スピーカー	スピーカー２chステレオ
外部音声出力	オーディオ出力端子(口径3.5φ)
端子部	
DC 入力	付属の電源アダプタを接続
RJ-45	ネットワーク接続用　100BASE-T×１
音声出力（非平衡）	ピンジャック(口径 3.5φ)　外部スピーカーとの接続用
音声出力（平衡）	ピンジャック(口径 3.5φ)　外部機器(放送設備)との接続用
接点出力	外部無電圧Ａ接点(４接点)　外部機器(放送設備)との接続用 制御電圧 DC24V、制御電流 1A、一括出力
一般	
電源	AC100V 50/60Hz　DC12V/2A　付属の電源アダプタ
消費電力	待機時：2.5W、警報時：13W
重量	約560g（スタンドを除く）
本体寸法	幅240㎜×高さ160㎜×奥行37㎜（スタンド・突起物を除く）
使用環境	使用温度：5℃～35℃(屋内用)、結露無きこと
付属品	電源アダプタ、スタンド、壁掛用木ネジ、取扱説明書(保証書付き)

●仕様および外観は、改善のため予告無く変更する場合があります。

製品保証書

型番	L-GENSAI-CE	製造番号	
お買い上げ日	年　月　日		
保証期間	（お買い上げ日より）1年間		
ご需要先 ご住所	郵便番号□□□□□□□ TEL		
ご需要先 ご会社名	様		
ご需要先 ご担当者名	様 TEL		
代理店 住所 氏名	TEL		
営業所名 住所 担当者	営業所 TEL		

見本

この製品は下記の通り保証いたします。

1. この製品は、厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。保証期間内に、正常な使用状態において万一故障した場合には、1年間無償で修理いたします。
2. 修理[illegible]しくは当社営業所・サービスセンターに、必ずこの[illegible]をご提示の上お申しつけください。
3. 無償修理期[illegible]も、下記に記載する項目に該当する場合は有償修[illegible]となります。
4. この[illegible]せん。大切に保管ください。
5. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid in JAPAN)
6. 保証書に印鑑なきものは無効です。

LET'S 株式会社レッツコーポレーション　今、求められるニーズを

次の場合には有償修理となります。

（イ）使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の搬送、移動、落下等による故障および損傷。
（ハ）付属機器、回線、故障および損傷。
（ニ）火災、風水害、地震、雷その他の天災地変および異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障および損傷。
（ホ）特殊環境（たとえば極度の湿気、塩害、ガス害、公害、塵埃、極寒など）による故障および損傷。
（ヘ）保証書のご提示がない場合。
（ト）保証書の紛失あるいは所定事項の未記入または字句を勝手に訂正された場合。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。

お問合せ先

本製品についてのお問い合わせは、最寄りの販売店もしくは弊社までお願いいたします。

株式会社 レッツコーポレーション

■カスタマーサービス
受付時間：９：３０～１８：００　（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）
〒４６０－０００２
愛知県名古屋市中区丸の内二丁目２０－１　レッツ丸の内本社２号館ビル
ＴＥＬ：０５２－２０９－７８６０　　ＦＡＸ：０５２－２０１－５０５０
ＵＲＬ：https://lets-co.jp

■本社
〒４６０－０００２
愛知県名古屋市中区丸の内二丁目２０－１　レッツ丸の内本社２号館ビル
ＴＥＬ：０５２－２０１－６２３０　　ＦＡＸ：０５２－２０１－５０５０

■東京営業所
〒１０４－００６１
東京都中央区銀座八丁目１９－３　銀座竹葉亭ビル６Ｆ
ＴＥＬ：０３－３５４６－０８８９　　ＦＡＸ：０３－３５４６－０９４１

■大阪営業所
〒５３２－０００３
大阪府大阪市淀川区宮原１－２－９　新大阪ハイロードビル５Ｆ
ＴＥＬ：０６－６１５１－５７４９

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

2025.07　Ver.1.01